

技術士 1 次試験に合格して



乾 亮子

(いぬい りょうこ)

勤務先

日鉄住金環境株式会社
水ソリューション事業本部 水処理維持管理部

☆北海道登別市若山浄化センター 勤務
E-mail r_inui@eco-tech.nssmc.com

■ 専門：衛生工学部門

1. 自己紹介

1 次試験の合格、とっても嬉しく思っています！
現在四十一歳、中三となる娘をもつ一児の母です。
出身は神奈川県小田原市。縁あって七年前に北海道へ移住し、登別市の浄化センターで維持管理業務に携わっています。水処理プラントの仕事に携わり、今年で十八年目です。今まで工事、設計、営業等々経て、現在の施設維持管理と仕事経験もバラエティに富み、思い起こせばし尿、下水道、上水道、浸出水、工業排水と様々な水処理プラントにふれてきました。今の私にとって水環境を守るという仕事は、きっても切り離せないものとなってきました。

2. 受験に至るまで

私は俗にいう工学女子でした。十数年前、工学部を卒業して以来、現場でモノに触れる機会も多く、ずっと泥臭い仕事をしてきています。現在の維持管理という仕事柄、ここ数年はたくさんの技術士の方々と話す機会がありました。しかしながら、技術士は自分とは無縁の資格と決めつけていました。

受験のきっかけは、所属する部署の上司のたった一言です。『レベルを知る意味で試しに受けてみてね』と。勿論、目標にして頑張るってという意味ではあったと思います。その一言で“私でも受験できるんだ。ならば、水処理の経験を生かし挑戦してみよう”と一気に目の前の壁がなくなり、自分にも技術士への登竜門が開きました。

3. 合格までの道のり

受験を決意したまでは良かったのですが、それまでの私の資格取得スタイルは講習会に参加して学ぶが基本だったので、身近な地区の開催がないことで半ば諦め、かなり弱気になりました。また、受験を決めてからは気合十分と言いたいところでしたが、

昨年一年は仕事も佳境の年でまとまった時間もなくて勉強ができない、と言い訳たっぷりの日々でした。

そんな私を奮い立たせてくれたのは、他でもない娘です。日頃、勉強については自分のことは棚にあげていましたので、『勉強は何のためにするのか？』の疑問に“行動”で答える、またとないチャンスだと思いました。そこからの三ヶ月は、少ない時間でもコツコツ勉強！の日々でした。

時間がない中で効率よく一次試験と突破するために、まず、問題集より先に勉強法の本を読みました。それから、娘の教科書に出てくる事柄くらいは深く説明出来るようにと、時事や法律については違う角度から知識を広げました。合わせて過去問を解き、高校数学など基礎を思い起こすこともしました。驚いたことに、教科書から得た知識がことのほか役立ち、今回の合格につながったのです！技術士という資格が多岐にわたる知識と経験を試されるため、かつて学生の頃に学習したことが、すべて基礎として有効だったのだと改めて感心しています。

私の場合、特殊な切り口でしたが、すべての知識の結びつきに日々の好奇心が加わり、それが合格という結果に繋がったのだと思っています。

4. 今後に向けて

合格後は諸先輩方に女性も多いと知り、モチベーションがかなりあがりました。私が女性技術者を目指すには、まだまだ積み重ねが必要かとは思いますが。至らない自分を自覚しながら、日々の業務や生活を通じて、まずは自己研鑽していきたいです。技術士二次試験は一次の比ではない努力をし、あきらめず受験に臨んでいこうと思います。今後、講演会などを通じて諸先輩にお会いし、自分の世界も広がっていったらと思います。ご指導よろしくお願いします！